

INDEPENDENTS



四国アイランドリーグplus
2019年北米遠征

北米遠征復活。15年目の新たなる挑戦へ。

過去2度に渡る世界への挑戦では、総勢9万人もの観客を動員（1試合平均約2,300人）、選抜メンバー総勢48名のうち9名がNPB球団からドラフト指名を受ける実績を上げ、事業面では現地企業、ケベック庁舎訪問など積極的な国際交流に取り組みました。

2017、2018年の2シーズンは実施を見送られた北米遠征ですが、2019年、四国アイランドリーグplusは再び世界へ飛び立ちます。15年目の挑戦として、新たなる北米遠征に挑みます。

今回の選抜チームでは、代表監督に元徳島インディゴソックス監督、養父鐵氏を招集。チームの育成面での充実を図ります。ユニフォームは心機一転、日本のスポーツデザインを牽引する大岩 Larry 正志氏デザインのもと、新たなるチーム「INDEPENDENTS」として北米での戦いに挑みます。また、スポンサー企業を対象とした現地での交流やアテンドを通じて、北米でしか創出できない機会の提供に努めます。

ファン、選手、企業のすべての方々に、喜びと成長の提供を目指し、四国アイランドリーグplusは北米での新たなる1歩を踏み出します。



代表監督の就任

この度、四国アイランドリーグplus代表監督兼GMに就任する事となりました。

2017年度には徳島インディゴソックスで監督をさせて頂いておりました。

今回の北米遠征を通じて、選手達には、同じ野球に取り組む中にも、色々なカルチャーがあり、色々な考え方がある、ということを感じてもらえればと思います。

言葉の壁や各種の成功体験、失敗体験の全てが、選手一人一人の成長に繋がると考えております。

私自身も、高校3年生の時に選抜チームの一員としてアメリカへ遠征したことが、海外の野球や文化に興味を持つきっかけとなり、その10年後に、アメリカへ渡り、選手契約をしました。

四国アイランドリーグplusから、NPBはもとより、メジャーリーグを目指したい、というハングリーさを持った選手が出て来てくれたら、とても嬉しいです。

私は、選手たちには、常に、自分で考え、行動し、結果に繋げることができる選手であって欲しいと思っていますので、選抜チームの編成や指導、育成の方針としては、こうした観点を重視していきたいと思っています。

未来ある選手の成長に、少しでも貢献することが出来れば幸いです。



Manager/General Manager.

A large, stylized handwritten signature in black ink, which appears to read "Tommy".